

RIKKYO UNIVERSITY

VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2020.07.03

こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン7月3日号です。

7月に入り、春学期も残すところあと1か月となりました。大学では、図書館とキャリアセンターのサービス利用に関して、段階的に入構制限を緩和していますが、依然として、不要不急の入構は禁止という状態のまま、2020年度も折り返し地点を過ぎることとなりました。

今は、このような状況ではありますが、今後、皆さんの大学生活にボランティアとの関わりが加わることで充実した日々が訪れるようになることを願い、ボランティアセンターは引き続きボランティアに関する情報を発信し、皆さんをサポートしていきたいと思えます。

さて、今日7月3日はソフトクリームの日です。1951年のこの日、明治神宮外苑で米軍主催の独立記念日を祝うカーニバルが行われ、その時に、初めてコーンスタイルのソフトクリームが販売されたことから、日本ソフトクリーム協議会が、ソフトクリームの日と制定したのだとか。

他のアイスクリームでもシャーベットでもジェラートでもなく、あのなめらかな食感や、サクサク&カリカリの香ばしいコーンの風味が広がるソフトクリームでなければ、ダメ！という時がありませんか？今では、当たり前のように街中の至る所で買うことができますが、当時の日本人にとって、食べられる食器ともいえるコーンに盛り付けられたソフトクリームの登場は衝撃であり、なんともスタイリッシュに見えたことでしょう。

全国の道の駅などでも、ご当地名物の変わりネタとして、わさび、イカ墨、温泉たまご、ポン酢、さらには、アイスの線が細くネギも乗った見た目は完全にうどんの、かまたまソフトクリームアイスなるものもあるようです。ご当地ソフトクリームも相当種類がありますから、ソウルフードのひとつになっている方もいらっしゃるのでは？



## CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ

(2) Online Welcome Week レポート

(3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

---

## (1) ボランティアセンターからのお知らせ

---

### ◆2020 年度 7 月以降の休日授業日及び授業休講日について◆

下記の通り、本年度 7 月以降の休日授業日及び授業休講日が一部変更になりましたので、ご注意ください。

#### 【修正前】

休日授業日 7/23 (木)、7/24 (金)、9/21 (月)、9/22 (火)、11/23 (月)

授業休講日 7/30 (木)、7/31 (金)、11/13 (金)、11/24 (火)、12/11 (金)、12/23 (水)

#### 【修正後】

休日授業日 ~~7/23 (木)、7/24 (金)~~、9/21 (月)、9/22 (火)、11/23 (月)

授業休講日 ~~7/30 (木)、7/31 (金)~~、11/13 (金)、11/24 (火)、12/11 (金)、12/23 (水)

### ◆バリアフリー上映会 文字起こしボランティア募集！◆

バリアフリー映画上映会です。

私たちは“誰でも楽しい上映会”を目標に毎年 12 月に新座キャンパスで、手話通訳やシーンを説明する音声ガイドを取り入れた映画上映会を開催しています。

今回、上映会に必要な”[文字起こし](#)”の作業をしてくれる**ボランティアを募集**します。

文字起こしとは、映画の台詞を聞いて文字にする作業のことで、映画の音声ガイドを作るときに必要な工程の一つです。

エクセルが使えるパソコンと DVD player があればだれでも参加できます。さらに”ちょっと戻す”という機能が付いたリモコンがあると便利です。約 10 分のシーンを文字起こしするのに 1 時間～1 時間半ほどの時間が必要です。字幕と吹き替えの言葉遣いが違うなど戸惑うこともあります。終わった時の達成感も大きいです。

**締め切りは 7 月 9 日**、立教大学生であればだれでも参加可能です。皆さまの参加をお待ちしております。

立教大学バリアフリー映画上映会

## 文字起こしボランティア 募集中！

7/9まで！



### ～バリアフリー映画上映会とは～

バリアフリー映画上映会は、地域連携の一環として、年齢やしょうがいの有無にかかわらず、すべての方々に映画を楽しんでいただきたいという想いから始まった映画会で、毎年12月に新座キャンパスで開催しています。

作品上映中は、映画の視覚的な情報を言葉にしてお伝えする音声ガイドを読み上げたり、司会進行時には手話通訳・文字通訳を行うなど、バリアフリー対応を心がけています。

立教大学の学生で組織されたバリアフリー上映会学生実行委員会が企画・運営を進めており、本年度は、コロナウイルスの影響もあり、現在、開催方法等も検討しながら準備していますが、上映作品は「僕のワンダフル・ジャーニー」に決定しました。（一昨年にこの上映会で扱った「僕のワンダフル・ライフ」の続編です。）

そこで、バリアフリー上映会実行委員会では、上記の通り、文字起こしボランティアを募集しています。

### ◆大好評！Online Welcome Week 開催中！◆

立教大学ボランティアセンターでは、新入生や在学生に向けて、お昼休みの時間、本学の学生ボランティアサークルメンバーと Online Welcome Week を開催中です。

各学生ボランティアサークルの活動の魅力、活動をはじめたきっかけ…など経験者の声を直接聞いてみませんか？座談会の様子をストーリーミング配信 (Google Meet) しています。

もちろん、2年生以上の学生のみなさんも大歓迎！予約不要です！

ボランティアやサークルに対する考え方や関わり方は、十人十色。この機会に、ぜひ自分に合ったサークルを探してみたいはかがでしょうか。

☆☆☆ 配信はこちらから！ (Google Meet)

<http://s.rikkyo.ac.jp/1fa020e>

☆☆☆皆さんの声をお聞かせください。(Google Form)

<https://forms.gle/k9J3Fgc5waPngJG38>

# Online Welcome Week 開催!!

立教大学にはどんなボランティアサークルがあるんだろう!?  
そんな皆さん!実際にサークルメンバーの話を聞いてみませんか?  
ボランティアサークルの座談会の様子をストリーミング配信します☆  
予約は不要!お気軽に参加してくださいね♪

日時 6/22(月)~7/7(火) ※スケジュールは下記参照  
12:30~13:15 (お昼休み)

参加方法・アンケート  
Google Meet : <http://s.rikkyo.ac.jp/1fa020e>  
各サークルが活動の魅力を配信します!!上記URLにアクセス♪  
Google Form : <https://forms.gle/k9J3Fgc5waPnqJG38>

簡単なアンケートです。ぜひ皆さんの声をお聞かせください!

開催終了 6/22(月) 【子ども】 ・さゆり会 ・RESC	開催終了 6/24(水) 【しょうがい・福祉】 ・バリアフリー映画上映会 ・どりいむ・ほっこす	開催終了 6/25(木) 【総合】 ・SEMBRAR ・YMCA	
開催終了 6/30(火) 【復興支援】 ・Frontiers ・Three-s	開催終了 7/2(木) 【環境】 REPC 【総合】 献血運動の会	開催終了 7/3(金) 【国際】 ・PRC ・アジア寺子屋	開催終了 7/7(火) 【子ども】 Bambino 【しょうがい・福祉】 点々虫の会

【主催】立教大学ボランティアセンター ☎ [volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

## (2) Online Welcome Week レポート

### Online Welcome Week

ボランティアセンターでは、毎年4月に、「新入生オリエンテーション行事」の一環として、ボランティアオリエンテーションを開催し、学内のボランティア関連部局の紹介、ボランティアセンターの活用方法、そして、本学学生ボランティアサークルの紹介などを行っています。

多くの新入生が参加するこの行事が今年は中止となりましたが、新入生や学生の皆さんに、各サークルの魅力を何とかお届けしたいという思いから、今できる形として、まずはオンライン会議システムを使って、ボランティアサークルを紹介することにしたのが、今回の「Online Welcome Week」です。

それぞれのサークルのフレッシュな声をお届けします。

#### ◆ ボランティアサークル座談会 Vol.2 ◆

これまで開催した座談会のうち、今回は6/25(木)・30(火)の内容の一部を紹介します。  
詳しい活動内容等は、各サークルのSNSをご覧ください!

#### ☆ 6/25(木) SEMBRAR & YMCA ☆

関連ワード #総合

■サークル活動で楽しかったことや思い出は?

## **SEMBRAR**

・ボランティア先の方と交流をすることでいろいろな学びがあり、自分の成長に繋がる瞬間が楽しいです。今まで関わったことのない人たちと交流することで、相手との接し方など新しい気づきがあり、学びがあります。

・福祉フェスタというイベントに参加した際に、多くの方と交流を通じて、とても良い経験ができました。

## **YMCA**

・ボランティア先でのコミュニケーション、相手から感謝してもらえた時に喜びを感じます。学習支援では、子ども達から「学校のテストでいい点が取れたよ！」という言葉や、被災地支援では、被災者の方から感謝された経験はうれしく、その後のモチベーションにも繋がると感じています。

・立教生に加え、他大の学生とも様々な出会いがあり、人との繋がりが増えました。出会いが多いほど、ボランティアの紹介も増え、人との繋がりが広がっていきます。様々な人たちと仲良くできた事が、一番印象に残っています。

## **■人数も多く、たくさんの人と交流ができるサークルですが、人見知りの学生でも大丈夫？**

### **SEMBRAR**

・人見知りで、1年生の時は悩みましたが、先輩たちが優しくサポートしてくださったので、だんだんと打ち解けることができ、ボランティア先でも積極的に関わっていきこうというチャレンジ精神を持つことができました。人見知りでも、安心して活動できる場にしていきたいと思っています。

・私も人見知りで、1年生の時は友達がありませんでしたが、週1回のミーティングでのレクリエーションやイベントの中で友達が増えていきました。心配しなくても、たくさん人がいますので、友達もできるはずです。

### **YMCA**

・最初は友達もいませんでしたが、YMCAの部室は雰囲気が良く、いつも先輩がいてくれます。部室に遊びに行くと、先輩からボランティアに誘われ、次第に繋がりができていきました。今では、自分が後輩を誘い、ボランティアに参加したり、企画する側になっています。

・YMCAの新入生の8~9割は人見知りだと思います。先輩も後輩の気持ちが分かっているので、部室やMTGでの雰囲気作りができています。顔を合わせていくうちに、自然に話せるような雰囲気ですので、あまり気にしなくても大丈夫です。

## **■入部前と入部後で、ギャップはありましたか？**

### **SEMBRAR**

・入部前は、「ボランティアは、真面目で意識の高い人の集まり」だと身構えていて、専門知識がないと難しいものだと思っていましたが、実際に活動してみると、知識がなくても参加でき、先輩やボランティア先の方が教えてくださって、気軽に初心者でも大丈夫だと感じました。

・実際活動してみると、ガツガツではなく皆で和気あいあいと活動できたことがギャップでした。想像していたよりも、学生ボランティアと利用者の方との距離が近く、仲良くなれました。

## YMCA

・ボランティアは意識が高いという認識でしたが、入部後は、もっとラフに参加できるものだと思います。

・ボランティアは真面目な人がするものだと思っていましたが、ボランティア先の相手とも友達のように接することもあり、どんどん好きになることができます。知識が備わっていても、ボランティアを楽しめるということが1番大きな発見でした。

※それぞれのサークルへの質問

## SEMBRAR へ

### ■ ボランティア以外のイベントは、具体的に何がありますか？

・サークルの全体のLINEで、ボランティアやイベントを募集しています。代表・副代表に限らず、横浜への遠足やディズニー等のイベント案をLINEで流し、希望者が参加するという形で行っています。

## YMCA へ

### ■ コロナの影響で活動が制限されていますが、現在活動していることは？

・ボランティア活動は人と密に接するため、現在、全て休止中です。新歓活動は、SNSやオンライン説明会などで行っています。

☆ 6/30(火) Three-S & Frontiers ☆

関連ワード [#復興支援](#)

※それぞれのサークルへの質問

## Three-S へ

### ■ サークルを選んだきっかけは？

・小学1年生まで福島県いわき市に住んでいました。震災当時は愛知県にいて何もできませんでした。大学に入学した時にこちらの復興支援のサークルを見つけて、入ってみようと思いました。

・初めは、復興支援サークルに絞って探していたわけではなく、ボランティアに興味がありました。Three-Sのアットホームなところやメンバーの雰囲気が良かったので入りました。実際に東北に行くと、東北の良さや現地の人々の温かさを感じ、入ってよかったと思います。

### ■ サークル活動で、風化防止・防災の啓発を始めたきっかけは？ また参加者の反応は？

・サークル活動を通じて、自分自身が防災などについて知らなかったことを多く学び、現地の方から教えていただいた震災時の教訓を、自分たちの周りにも伝えたいと思

いました。学園祭では、小さな子どもからお年寄りまで、写真を見て「行ってみたい。」という声や、防災啓発では、「これなら少しずつやってみよう。」という声があり、リピーターもいらっしやいます。これからも続けたいと思います。

・自分達でも何かできないかという思いから始めました。皆、多少関心はあっても他人事の部分があると感じ、そのことを、自分事に変えて一人でも多くの人に知ってほしいと思いました。学園祭に来てくださった方からは、「自分は知った気になっていたが、現地はまだこんな感じなんですね…。」という声や、防災に関しては、「まだまだ知らないことがありました。」と感謝されることが多くありました。

#### ■コロナ禍で被災地に行けませんが、Three-S では今どんな活動をしていますか？

・10日に1度、お昼休みにZoomでオンラインミーティングを行っています。また、新入生へのアプローチ方法やサークルの方針を考えています。復興支援とはそもそも何か？など、サークル自体を見つめ直す時間になっています。

### Frontiersへ

#### ■サークルに入った理由は？

・途中で入部しましたが、ボランティアをしてみたいという気持ちがずっとあり、ボランティアオリエンテーションなどに参加してサークルを探していました。被災地に行ってみようという気持ちにもなっていた時に、全カリの授業で先輩の復興支援のプレゼンテーションを見て、インスピレーションを受けました。また、写真展も見て、雰囲気も温かく、入りたいと思いました。

#### ■活動で、唐桑へ繰り返し行き続けている理由は？

・もともとは、東日本大震災の発生後に、被災地でボランティア活動を行っていた学生が中心となって結成されたサークルです。そのため、そこで出会った地域の方々との繋がりを、Frontiersでは、代々ずっと大切にできています。唐桑は、訪れた学生が皆、また行きたいと思わせてくれる場所で、Frontiersにとって、特別な場所になっています。

#### ■被災地へ直接行ってみて、自分が変わった出来事は？

・被災地に行き被災者にお会いするという事に対して、初めは気負っていた部分がありました。しかし、実際に現地の方とお話ししてみると、温かく迎えてくださり、こちらがパワーをいただけたことが、このサークルに入って驚いたことです。東日本大震災のイメージが変わりました。

・サークルの活動は、被災者の方のために自分が何かするというイメージでしたが、現地に行くと、逆に被災者の方から当時の事を教えていただいたり、自分がもらうものが多く、何かお返ししないと、という気持ちになりました。また、偶然の出会いや予想していなかった人と話せたことで出会いが繋がっていくことの素晴らしさを感じました。

#### ■東北のどの場所で、どんな活動をしていますか？ 交通費などの費用は？

・年に2回、2泊または3泊で、宮城県気仙沼市唐桑町と岩手県陸前高田市を訪れ、地域の方との交流や復興状況をみています。費用は、立教大学陸前高田サテライトの援助金制度を利用し、1回の合宿にかかる費用は約1万円前後です。

---

### (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

---

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

立教大学では2011年の東日本大震災以降、岩手県陸前高田市を中心に東北各地で復興支援活動や交流活動を継続しています。現在は、陸前高田市ご協力のもと、岩手大学の方々と共に同市の地域課題解決に貢献できるようなプログラムにも取り組んでいます。

陸前高田市と立教大学の歩みを少しずつ振り返りながら、学生の皆さんが陸前高田を訪れることが出来るプログラムやスタッフによる耳ヨリ情報を掲載していきます！

#### ★立教大学と陸前高田～Rの物語 vol.6 立教小学校のクリスマスカード

東京でできる取り組みも始まりました。立教小学校では子ども達が赤と緑の色画用紙に色とりどりの絵とメッセージを書いてクリスマスカードを作り、陸前高田市内の小中学校にお贈りしました。2011年の暮れに4年生のひとクラスで始まったこの小さな取り組みが、2012年には有志100名近くに広がり、その後も継続しています。また、毎週の礼拝で子ども達がお小遣いなどから出している献金を積み立て、市内小中学校で不足している文具を地元の復興支援団体に調べてもらい、地元の業者から購入して届ける活動も行っていました。

2017年、クリスマスカードの送り先の1つの中学校が修学旅行で立教大学を訪れ、感謝の合唱コンサートを実施、立教小学校の子ども達からも合唱のお返しをしました。さらに先日、立教小学校に手作りの絵手紙が届きました。新型コロナウイルス感染症の不安と向き合う子ども達を励ますため、クリスマスカードの送り先である別の中学校の生徒たちが贈ってくれたものでした。



子ども達が贈ったクリスマスカード



「感謝の合唱コンサート」



★スタッフが出会った、たかたのことば～「Rの言葉」陸前高田市長・戸羽太さん

2012年から13年にかけて、立教大学では陸前高田市の日常や復興への思い、将来の夢を語る映像集「Rの言葉」を作成しました。今回は陸前高田市長・戸羽太さんからの言葉をご紹介します。戸羽さんは、震災でご自身のご家族を亡くされながらも、陸前高田市の復興をリードし続けています。

Rの言葉 戸羽太氏（陸前高田市長）

<https://youtu.be/aPYwU0vkVDg>



\*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 [rrs@rikkyo.ac.jp](mailto:rrs@rikkyo.ac.jp)

\*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo\_rrs) [https://www.instagram.com/rikkyo\\_rrs/](https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/)

(編集：ボランティアコーディネーター／広瀬)

---

**立教大学ボランティアセンター**

---

◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30、土曜日 10:30～12:30

但し、両キャンパスとも原則として入構制限となっています。

◎ホームページ

[http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular\\_activities/volunteer.html](http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html)

◎メールアドレス

[volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

◎Facebook

<https://www.facebook.com/立教大学ボランティアセンター>

[537537806439867/?ref=aymt\\_homepage\\_panel](https://www.facebook.com/537537806439867/?ref=aymt_homepage_panel)

©TwitterID

@rikkyo\_volucen

[http://twitter.com/rikkyo\\_volucen/](http://twitter.com/rikkyo_volucen/)

©Instagram

[https://www.instagram.com/rikkyo\\_vc/?hl=ja](https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja)

©ボランティアナビ

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/SitePages/navi.aspx>

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94Je1nJwm7>

---

(C)2019 RVC all rights reserved.

---